

SP II β ビジネスプラン 発表ルーブリック

- 班の代表者（1人～全員）で4分間のプレゼンテーションを行う。
- プレゼンスライドは1スライド1メッセージ(1枚のスライドは大きく表示した図・写真+1つの短い文章で構成)を心がけ、1枚1枚のスライドをポスターのように美しくデザインする。
- プレゼンは原稿を見ずに行い(作成はしても良い)、スライドが主役ではなく、プレゼンターが主役となるように心がける。

項目 ( )は 「課題研究ロジックシート」 との対応	評価基準			
	1:★ 努力が必要	2:★★ 目標に一部到達	3:★★★ 目標に到達	4:★★★★ 目標以上に到達
1 オープニング	オープニングが意識されていなかった。	オープニングは意識されていたが、聴衆のほとんどが「自分ごと化」できなかったのではないかと感じた。	オープニングが意識されており、聴衆の一定数が「自分ごと化」できたのではないかと感じた。  「自分ごと化」…自分と関係のある聴く価値のあるテーマであると認識すること	オープニングが意識されており、聴衆の多くが「自分ごと化」できたのではないかと感じた。
2 問題の重要性 (リサーチクエスチョン設定の根拠①)	設定した問題の重要性が伝わるデータ・事実が示されておらず、解決する価値のある問題であるか判断できなかった。	設定した問題の重要性が伝わるデータ・事実が示されていたが、解決する価値のある問題であるとは思えなかった。	設定した問題の重要性が伝わるデータ・事実が示されており、解決する価値のある問題であることが納得できた。	設定した問題の重要性が伝わるデータ・事実が示されており、解決することに大きな価値があるという認識が深まった。
3 問題が解決できていない理由 (リサーチクエスチョン設定の根拠②)	既存のサービスが説明されていなかった。	既存のサービスが説明されていたが、既存のサービスで問題が解決できてない「理由」の調査・分析が不十分であると感じた。	既存のサービスが説明されており、既存のサービスで問題が解決できてない「理由」の調査・分析がなされており、説明が納得できた。	既存のサービスが説明されており、既存のサービスで問題が解決できてない「驚くべき理由(一般には認識されていない理由)」に気づかされた。
4 解決策の提示 (仮説)	このプランによって「ユーザーの現状がどのように変わるのか」が説明されていなかった。	このプランによって「ユーザーの現状がどのように変わるのか」が説明されていたものの、画像・動画等が示されておらず、イメージしにくかった。	このプランによって「ユーザーの現状がどのように変わるのか」が画像・動画・デモ・寸劇等で説明されており、ユーザーの体験の変化がイメージできた。	このプランによって「ユーザーの現状がどのように変わるのか」が画像・動画・デモ・寸劇等で説明されており、ユーザーの体験が大きく変化することに關心した。
5 解決策がうまくいく根拠 (仮説を設定した根拠)	このプランの「特徴」が説明されていなかった。	このプランの「特徴」が説明されていたが、既存のサービスと比べて優れている根拠が曖昧で、説明があまり納得できなかった。	このプランの「特徴」が説明されており、既存のサービスと比べて優れている根拠(データ・事実)が示され、説明が納得できた。	このプランの「特徴」が説明されており、既存のサービスと比べて優れている根拠が明確に示され、説明が大いに納得できた。
6 計画実現へのアクション (検証方法の進行度)	アイデアを実現するための計画が示されていなかった。	アイデアを実現するための計画は示されていたが、アイデア実現のために特に行動していなかった。	モックアップ(アプリの画面、製品の模型等、見た目だけを作った試作品)の制作や内外の関係者へのインタビュー等、アイデア実現のために1歩踏み出していた。	プロトタイプ(アプリ、製品等の実際に動作する試作品)の作成やユーザーテスト、内外の関係者と実現に向けた調整、実行等、アイデア実現に向けて大きく行動していた。
7 クロージング	クロージングが意識されていなかった。	クロージングは意識されていたが、このプランによってもたらされる未来像があまりイメージできなかった。	クロージングが意識されており、このプランによってもたらされる未来像がイメージできた。	クロージングが意識されており、このプランによってもたらされる未来像がプレゼンターの情熱とともに伝わった。
8 全体評価	このプランの内容がよく分からなかった。	プレゼンおよび、プランの内容(①斬新性②社会的インパクト③実現可能性)から、このプランによってもたらされる未来に、あまり可能性を感じなかった。	プレゼンおよび、プランの内容(①斬新性②社会的インパクト③実現可能性)から、このプランによってもたらされる未来に、可能性を感じた。	プレゼンおよび、プランの内容(①斬新性②社会的インパクト③実現可能性)から、このプランによってもたらされる未来に、大きな期待を感じた。

<プランの評価の観点>  
 ①斬新性…どれだけ、これまでにない新しいアイデアであるか  
 ②社会的インパクト…どれだけ、このプランの実現が社会に与える影響が大きいか  
 ③実現可能性…どれだけ、このプランの具体性が高く、見通しが立っているか、計画が進んでいるか  
 ※原則①～③のバランスで評価するが、どれかが著しく優れている場合には、高い評価をしても良い。